ミニ・シリーズ／CD-ROMによるデータベース

増山 恵一*

現 状 と 展 望

—米国のアプリケーション例を中心として—

③

*Present Status and Prospect;
Centered around Its Applications in the U.S.*

MASUYAMA Keiichi

mini-series / CD-ROM-aided Databases

[著者抄録] 新しい大容量の情報媒体として CD-ROM が急浮上してきた。米国では 3 年後には 2,000 億円市場になるだろうとの予測もあって、データベース業界の戦略目標になっている。日本でも今年から商品化の動きが活発化してきたが、「オンディスク」データベースとして、あるいは電子出版物として CD-ROM ビジネスは情報市場を席卷するであろうか。ここでは主に米国のアプリケーション例を参考にしながら、この新しい光ディスク媒体の市場性と今後と動向について展望してみた。

[著者付与キーワード] コンパクトディスク, CD-ROM, 光ディスク, 技術展望, 製品開発

[Author Abstract] CD-ROM has rapidly evolved as a new information medium with large capacity. In the U. S. it is predicted that it will become two hundred billion yen market in three years, and thus CD-ROM is strategic target of database industry. Here in Japan the movement toward its commercialization has been active since this year. Shall CD-ROM bussiness ever conquer information market as an on-disk database or electronic publication? Referring to some cases of the applications in the U. S. the author views marketability and the future trend of this new optical disk medium.

[Keywords by Author] compact disk, CD-ROM, optical disk, technological review, product development

* 日刊工業新聞社 情報サービス局 (〒102 千代田区九段北 1-8-10) Tel. 03(263)2311
The Daily Industrial News (8-10, Kudan-kita 1-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102)

1. は じ め に

光学式記録という技術がビジネス界に、そして一般の社会生活に入り込んでくようとしている。中でも最近にわかに脚光を浴びつつあるのが、CD-ROM(コンパクトディスクを読み取り専用メモリーにしたもの)である。

直径わずか12cmの円盤に、文字数にして2億7,000万字が蓄積できるこの記憶媒体は、データベース、電子出版にさまざまな応用分野が期待され、我が国でもいろいろなアイデアを生かした商品が誕生しそうである。CD-ROMがテイクオフした米国では、1990年には13億ドル(約2,000億円)の市場規模になるだろうと予測されているが、日本ではまだ市場性に未知の部分が多々あり、一部商品が出回っているものの、ユーザーズをにらんだソフトウェアの開発が急がれている段階だ。

2. CD-ROMの商品化の動向

ソフト次第でヒット商品となる可能性

CD-ROMは、1983年にフィリップス、ソニー両社の提案をもとに物理フォーマットが規格化されたもので、歴史は非常に浅い。特に論理フォーマットについてはハイシエラグループが規格案を出したが、まだ完全に規格化されていないし、1986年にフィリップス、ソニーがCD-ROMファミリーとして、再び提案したCD-I(対話型CD-ROM)

はライセンサーである家電メーカーと意見調整の段階である。

ソニーではカスタムLSIの開発にあと1年、ソフトはそれから早くてもあと半年、したがって市場形成は1989年になろうと予想している。こうしてみると、共通仕様の規格化を含めて、まだまだ不透明部分を多く残した、動きの激しい商品である。

コンパクトディスクは現在、音楽の分野で活用され、オーディオ用は日本でもついにLPレコードの売上高を抜いたと言われる。音のデジタル信号の代わりに、文字情報、画像情報を取り込んだのが電子出版、CD-ROMデータベースである。CD-ROMに検索用ソフトを組み込み、データを取り出す場合はドライブ、パソコン、さらに二つを結ぶインタフェイスソフトが必要で、オーディオ用より仕掛けはずっと大きくなる。

ドライブでは日立製作所、ソニーがすでに参入しており、東芝、三洋電機、松下電器産業、日本電気なども新規参入を目指しているが、電子出版やデータベースでの活用が日本ではまだまだ少ないため、ドライブのトップメーカー・日立製作所でも大部分を輸出に振り向けている。

しかし、日本でも電子出版、データベース分野でユーティリティに富んだソフトが出現すれば、魅力的なヒット商品となる可能性は秘めている。大百科辞典50数冊が一枚のCD-ROMに収録でき、しかも検索ソフトですばやく必要な項目が取り出せるCD-ROM辞典などは、日本の住宅事情からみて最適な商品との見方もできる。

データベース分野ではパッケージ型、分散型の「オンディスク」データベースとして商品化が考えられる。高い国際回線料金を払ってオンラインで検索していた海外データベースをCD-ROM化すれば、企業内や研究室で手軽に安く活用できるようになる。もちろん、日々、データを更新しなければならない新聞記事情報、株式情報、市況情報といったようなものは無理だ。

CD-ROMでのデータ更新は1か月に1回が限度とされ、読み出し専用メモリーであるため、一度入力したデータの書き込み修正ができないから

図1 米国のCD-ROM市場

である。したがって、① 540 メガバイト（フロッピーディスク 540 枚分）という記憶大容量、② プレスで一度に何百枚、何千枚という大量生産が可能で、1 バイト当たりの経済性がきわめて高い、③ はこりやきずに強く、寿命は数十年、といった CD-ROM の特質を生かしたデータベース分野への活用が今後の課題となる。そうした意味では、更新が比較的少ない文献情報、知識情報が向いている。

オンラインとハイブリッドな活用も

さらに、データベースサービス面からみると、オンラインとのハイブリッドな利用法が考えられる。アップデート情報はオンラインで検索し、原情報の提供は CD-ROM で、という方向である。たとえば、新聞記事情報データベースの場合、標題・抄録はオンラインで検索し、一次情報である記事全文コピー、あるいは発表資料は CD-ROM データベースから出力するというやり方である。記事情報データベース構築中の新聞社にとって、原情報の保管は誠に頭の痛い問題である。すでに坪当たり数千万円という価格の土地の上に立ったビルのオフィスに、膨大なファイルが蓄積されているが、5 年後、10 年後にはパンクすることが目に見えている。また、記事情報の原資料に対するユーザニーズも高まっている。こうした CD-ROM による原情報のファイリングとコード番号による検索抽出機能を CTS、オンラインデータベースに連動させれば、トータルシステムとして、記事情報データベースは完成されたものとなる。

CD-ROM データベースが出回れば、オンラインデータベースのバイパスとなり、オンラインにマイナスの影響を招くとの見方もあるが、新聞記事情報データベースを考えると、むしろ相互補完的な関係が成り立つのではなからうか。ただし、一度に何百枚もの量産ができる CD-ROM データベースに対しては著作権侵害の機会が増大するので、厳重な法的規制、社会的チェックが必要となる。

3. 米欧の CD-ROM データベース

戦略商品のターゲット

米国ではすでに、ベンチャー企業を中心に 100 社以上が CD-ROM 市場に参入、100 タイトル近いファイルが発表されている。中でも州法、連邦法を収載したものや世界地図を取めたもの、さらには試験問題 4 万問を CD-ROM 化したもの等が話題になっている。

判例データベースは国民 10,000 人当たり弁護士が 20 人（日本は 4 人）いるという法律国家の米国社会では、とくに利用度の高いデータベースだが、オンラインで判例を調べると 1～2 時間はあっという間にかかってしまうし、月末に 1 か月 5 万ドルもの請求書がきて、悲鳴を上げた弁護士のケースも報告されている。そこで判例集をパッケージ化した CD-ROM データベースが法律家の間で人气的になっているという。

また、医療用のエマージェンシー情報も CD-ROM 化され、たとえば、乳児が洗剤を飲み込んだとすると、その洗剤の名前をインプットしさえすれば、「牛乳で中和すればよい」といった応急措置を知ることができるという具合で、家庭にまで浸透する勢いをみせている。

昨秋、データベース振興センターが派遣した米国データベース事情視察団の報告でも、米国のデータベース業者はこぞって、CD-ROM を次の戦略商品ターゲットの第 1 位に挙げ、そのフィーバー振りをうかがわせるのに十分だったという。

その中で、世界最大の文献データベースサービス会社である米国ダイアログ・インフォメーション・サービス社（カリフォルニア州）は昨年、CD-ROM データベースの第 1 号商品として、教育関係論文の所在情報を抄録付きで提供する「ERIC」の米国市場での販売を開始、今春、丸善を通じ日本でも発売した。

ダイアログ社の CD-ROM 事業は“ダイアログ・オンディスク”と名付けられ、その第 1 号となった ERIC は年 4 回データ更新され、1966 年以降の全ファイルが CD-ROM 3 枚に収められ、

3,450 ドルで売られている。対象となるパソコンは IBM の PC AT/XT および互換機で、ドライブ (CD-ROM のリーダー) はフィリップス社のものをあっせんしている。検索方法は従来のオンラインによるシステムと同一の方法で情報が取り出せ、CD-ROM とオンラインの切り換え利用もできるようになっている。

ダイアログ社と並んで米国の大手データベースサービス会社である BRS インフォメーション・テクノロジー社 (ニューヨーク州) も医療用にターゲットを絞った CD-ROM の商品化に意欲的で、デービー・フル同社副社長は昨年 11 月末、東京で記者会見した折、「CD-ROM 商品を 1987 年末には発売する」と発表した。BRS は目下、B テスト (ユーザ側での利用実験) の段階で、ゴーサインが出れば、商品としては医学データベースの MEDLINE の中から、よく使われている部分を CD-ROM 化する計画である。

欧州における CD-ROM 化の最近の主な動きを追ってみると、英国ライブラリー協会作成の図書館・情報科学分野の文献データベース・Lisa (Library and Information Science Abstracts) の 1 年分 (1984 年) が CD-ROM に収録されたが、このプロジェクトは Lisa の全データベースの CD-ROM 化に先駆けるものである。

また、西独 Hoppenstedt は 22,000 を超すドイツ企業情報ハンドブックを CD-ROM 化して売り出すと発表した。その駆動装置の優先サプライヤーは日立製作所が指名された。

DEC の撤退とフィーバーへの反省

一方、米国を中心としたフィーバーのかげで文献データベースの CD-ROM 化と販売のパイオニアだった DEC (Digital Equipment Corp.) が昨年 8 月、この分野からの撤退を決めたことは業界を騒がせた大きなニュースとなった。DEC の計画はコンピュータ・通信・電子工学分野、環境科学分野、航空・宇宙工学分野、電気・情報工学分野、衛生・安全化学分野の 5 種類のファイルをパソコン用 CD-ROM データベースとして発売しようと

いうもので、年間予約価格は 1,150 ドルから 1,195 ドルと設定された。このプロジェクトをなぜ DEC が放棄したかについては、さまざまな憶測が飛んだが、米情報専門誌は、印刷物やオンラインで検索できる同じ文献データの焼き直しに金を払おうとするユーザが少なかったためだろうと指摘している。

DEC が投げ出した CD-ROM データベースは米 Silver Platter Information Inc. が引き継ぐべく買収交渉に乗り出したとのニュースもあるが、詳細はなお明らかでない。

この DEC の撤退が教訓となって、CD-ROM フィーバーに対する反省の声が出始めているのも注目ししよう。どんな魅力的なハード技術といえども、結局それは情報へのアクセスの手段以上の何ものでもなく、価値のない情報や既存のメディアで十分入手可能な情報の集合体では、ユーザから見向きもされないという教訓であろう。

ビデオテックスなどと同様、米国から日本へ本格的な上陸が始まろうとする矢先に、本家の米国で「CD-ROM は誇大宣伝されすぎている」との声が起こっていることも銘記しておく必要がある。

海賊版が心配

一方、CD-ROM が広汎に普及した場合、在来の情報市場の常識を超えた領域で、思わぬ事態に直面するのではないかと、米国では真剣な論議が出始めている。そのひとつが海賊版対策である。CD-ROM を香港あたりでリマスターし、どんどんコピーして海賊版 CD-ROM を売られたら、手の打ちようがないのではないかと論議である。アップデートな文献情報のダイナミックな部分を違法に複製されることはありえないとしても、百科事典や個人向け参考書のような出版物の CD-ROM はアングラー・マーケットが生まれる可能性が十分あるし、また今のところそれを防ぐ手段はないということである。

とはいえ、パーソナルコンピュータとリンクした光記憶装置の登場で、米国の情報産業は今後 5 年の間に大きな変容を遂げるであろうことは疑う

余地がないとされている。

特に、大学や公共図書館は無制限のアクセスを必要としているにもかかわらず、予算上の制約からオンラインの利用には限度があるので、将来CD-ROMの大きな市場になると見込まれている。すでに、インディアナ大学ではInfo Tracを週に2,000回検索しているが、レポートを作成する時期には朝早くから深夜まで、学生が列をついている状態なので、利用は1人5分間に制限されているほどだという(1回の利用コストは37セント)。

こうした例は光ディスクデータベースが情報の中身とユーザ次第で、素晴らしく効率のよいメカニズムとなりうることを証明している。

波乱含みの特許問題

今年に入って、CDソフト、CDプレーヤに関して特許問題が急浮上してきたことも気がかりなニュースである。CDが生産され始めてはほぼ5年になるが、これまでソフトの生産に関して何も言わなかった米国MCAとオランダのフィリップスが特許使用料を支払うよう要求、ソフトメカは頭を抱えている。CDソフト(盤)の生産工程である、ガラスマスターの製法などに関する特許権に対し、両社に1枚当たり3セントずつ支払うよう求めている。ソフトは昨年前半まで売り手市場だったが、各メカの生産能力拡大で、1枚のカスタムプレス料は3ドルを割り、採算が悪化している。しかも日米欧各社の増強計画が目白押しで、さらに低下することは確実である。今のところ、大勢は払わざるを得ない方向に傾きつつあるが、6セントは重くのしかかってきそうだ。

両社の特許は、CDソフトの型となるスタンパーをつくるもとになるガラスマスターの製法で、ガラスの上にフォトレジストを塗り、これにレーザー光をあてて、約5億個のピットをつくる製法がMCAの特許で、また、深さがフォトレジストの塗膜の厚さに左右されるピットのつくり方がフィリップスの特許になっているという。

一方、CDプレーヤに対して、ここにきてフラン

ス・トムソンがピックアップの特許使用料を要求してきており、CDをめぐる動きは特許問題で一層波乱含みとなっている。

4. CD-ROM(CD-I)ビジネスの今後の展望

望まれるドライブ価格の低下

新しい情報媒体としてのCD-ROMに寄せられている最大の期待は、直径12センチのディスク片面に540メガバイトという大容量の情報を書き込むことができ、情報コストが印刷物や、フロッピーディスクに比べ、格段に安いという点にある。半面、現状ではユーザ側の書き込み・修正が不可能で、専用ドライブが高過ぎるというのがデメリットである。

データベースにせよ、電子出版にせよ、商品化を進める場合、成否のカギはCD-ROMのデメリットを避け、そのすぐれた特質を最大限に生かすソフト(情報の内容)をいかに開発するかにかかっている。

CD-ROM商品を構成する要素は、CD-ROMに入れる大量の情報と、それらの情報を必要に応じて自由に検索したり、再利用できるソフトウェア、それにパソコンおよびCD-ROM専用ドライブなどのハードウェアシステムの三つである。

情報内容についてはA4判27万ページ、新聞(朝夕刊)1年分という大容量を生かすものが適しているのは言うまでもない。我が国では、紀伊國屋書店、日外アソシエーツ、日立製作所が共同発表したスタンドアロン型データベース・サービス「バイブルズ」、岩波書店、富士通、ソニー、大日本印刷が共同で開発した「広辞苑」のCD-ROMシステム、東京出版販売と日本電気が発売した「東販CD-ROMシステム」、これらに先駆けて三修社がCD-ROM化した英・独・和3か国対訳辞典等はCD-ROMの記憶大容量を十分生かそうとした試みだ。

近く発売される「バイブルズ」は辞書、辞典、各種ハンドブックなどの書籍情報と、図書内容データベース「BOOK」など多彩な情報を盛り込ん

でいる。広辞苑 CD-ROM 第 3 版は 20 万項目、1,200 万字を収録しているが、それでも全容量の 1 割にも満たないので、残りの 9 割を活用するアイデアに苦心しているという。三修社は 3 か国語からさらに 8 か国語の翻訳ワープロを開発する国際プロジェクトをスタートさせている。

日本特許情報機構 (JAPIO) は特許公開情報および実用新案公報を CD-ROM に収録した。CD-ROM 1 枚当たりの収録量は、特許が B 5 判約 1 万 5,600 ページ (特許公開公報 88 冊分) に達する。

また、図形情報を入力できる特徴を生かして地図情報の CD-ROM 化も進んでいる。ゼンリンが開発した電子地図は町名や目標物の名称などで地域を検索し、パソコン画面に地図を表示したり、特定地域のデータ作成に役立てることができる。同社は 2 年後には全国の人口 50 万以上の都市を網羅する予定という。また、NTT が東京 23 区の職業別 CD タウンページを試作したことも話題を呼んだ。

以上のように、日本では CD-ROM は「電子出版」のニューメディアとして、出版社が先行している形だが、これらの CD-ROM 商品がユーザーをつかみ、市場性を確立するためにはすぐれた検索ソフトやデータ処理ソフトが必要となる。CD-ROM にいかに大量のデータを詰め込んでも、ファイルとして整理、組織化され、必要な情報だけを即座に引き出せなければ、利用価値はゼロに等しい。CD-ROM ビジネスを成功させるかどうかは、検索ソフトのノウハウが重要なカギを握っていると言える。

ニューメディアが登場すると、いつも論議的となることだが、ハード料金をめぐる、にわとりが先か玉子が先かの問題が、CD-ROM の場合にも言える。CD-ROM 用ドライブの価格は現在 25 万円前後だが、10 万円以下にならなければ広範囲な普及は望めないだろう。音楽用 CD ドライブは

当初 20 万円以上していたのが、現在は 5 万円前後で買えるが、その用途からみて、大量普及と量産化によるオーディオ並みの急速なコストダウンは CD-ROM の場合、望めないだろう。百科事典の CD-ROM 版 1 冊の値段は 1 万 5,000 円から 2 万円だが、システム価格は 200 万円近くになる。CD-ROM の普及は情報の中身もさることながら、ソフト・ハードを含めたシステム価格をどこまで下げられるかが今後の大きな課題であろう。

音も絵も出る CD-I

昨年 2 月、ソニーとフィリップスは音、自然画、アニメーション、グラフィックス、文字データおよびコンピュータプログラムまでを一括して収録する家庭・教育用の CD-ROM 「CD-I」 (Compact Disc Interactive Media) の国際規格化を提唱した。この CD-I にはソフトウェアも収録するため、パソコンを組み合わせなくても、ドライブに簡単なチップを内蔵するだけでインテリジェント化できるし、操作も格段に簡略化される。

商品化はまだ先だが、家庭・学習向けに面白いアイデア商品がいろいろ考えられ、CD-ROM ファミリーの有力な一員になりそう。たとえば語学学習用に使えば、発音記号に頼らなくても、生の発音を耳で聞くことができるし、景観や照明までひと目でわかる不動産物件情報や「Do-It-Yourself」情報など、どんな CD-I のアプリケーションが登場してくるか、楽しみだ。

CD-I のデータ容量は 600 メガバイト以上で、自然画、グラフィックスにして 6,000 枚、A 4 判文字情報 20 万枚 (文庫本にすると、2,000 冊)、音にすると 16 時間も入ってしまう。娯楽用、CAI 用だけでなく、工夫次第では産業用、ビジネス用にもパッケージ型データベースとして用途開発が進みそうである。

別表 米国の主要光ディスク——CD-ROM データベース一覧

(日刊工業新聞社発行 NK InfoLink 誌より引用)

製 品 名	提 供 企 業	製 品 内 容	価 格
Biblio File	The Library Corporation	The Catalog Production System 300 万件の LC MARC レコードが4枚のディスクに入っており、検索、編集、新規登録、カードプリント、OCLC タイプの磁気テープへの変換などが可能。 Laser-Search Book Identification and Acquisition System 150 万件の英文書籍に収める ANY-BOOK データベースを使用し、自動的に注文と決済ができる。	2,930 ドル ・検索ソフト ・DB ディスク ・CD ドライブ ・アップデート
Chemical Abstracts : Health and Safety in Chemistry	Digital Equipment Corporation (DEC) ※撤退	Chemical Abstracts Service 社の CA Search からの5万件のサブセット 1980~1985 年の健康と安全に関する分野の専門的医学文献からの書誌事項を収録。ディスク自体に収められている Micro BASIS マニュアルを使いながらブール式検索が可能。	1,195 ドル ・年4回更新 ・CD リーダー(不要の場合は500ドル値引き)
COMPACT Cambridge/Aquatic Sciences and Fisheries Abstracts	Cambridge Scientific Abstracts	1982 年の1月から85年の6月までの雑誌記事、論文、新聞、会議録、政府文書などを二つのインデックス(①生物科学と生物資源、②海洋科学と政策、非生物資源)に分けて提供する。それに加えて Aquaculture Abstracts の目次も提供する。ブール式検索は、DIALOG のコマンドモードでも、メニュー式でも利用可能である。検索結果は、他のソフトウェアパッケージで利用できるように ASC II ファイルにダウンロードし、変換される。	6,750 ドル(年) ・年4回更新 ・CD リーダー(不要の場合は500ドル値引き)
COMPACT Cambridge/Life Sciences	Cambridge Scientific Abstracts	生物地球科学、生態学、昆虫学、行動生物学、遺伝学、免疫学、微生物学、毒物学、ウイルス学等の分野に関する世界中の専門的文献が入っている。収録範囲は、1984 年の8月から1985 年の7月に拡張された(この先4半期更新をどうするかは未定)。このシステムは、コマンド、メニュー両方で、ブール式検索が利用できる。	3,650 ドル(年) ・年4回更新 ・CD リーダー(不要の場合は500ドル値引き)
COMPACT DISCLOSURE	Disclosure, Inc.	1 万社の上場企業のビジネス、財務情報で、SEC 文書、代理権一覧表、年間レポート(社長の書簡と経営陣の会議の全文)、さらにそれ以外の発表資料から抄録された情報を提供する。企業概要には、財務データ、収益操作売り上げと EPS、役員、付属的事項、重要イベント、所有者等。ブール式で検索できる。その結果は、ユーザのワープロ、またはスプレッドシートのプログラムにダウンロードできる。	図書館、学術団体は 2,200~3,200 ドル 商用は 3,500~4,500 ドル
COMPENDEX : Aerospace Engineering	Digital Equipment Corporation (DEC) ※撤退	Engineering Information, Inc の提供であり、同名の雑誌のバックナンバー、政府文書、航空工学関係論文の1983 年7月から1985 年6月までのアブストラクトを含んでいる。ブール式検索で提供され、データベースディスク自体に収められている初歩の手順に従っても検索可能である。	1,195 ドル(年) ・年4回更新
COMPENDEX : Electrical Engineering and Computer Engineering	Digital Equipment Corporation (DEC) ※撤退	COMPENDEX のデータベースと印刷媒体の Engineering Index Monthly の一部分。電子・コンピュータ工学分野の権威ある国際的な専門文献の書誌事項をアブストラクト式の検索方式で提供する。データベースディスク自体に収められている初歩の手順に従っても検索可能である。	1,195 ドル(年) ・年4回

Computerized Clinical Information Database	Micromedex, Inc.	薬品毒物の分類と取り扱い情報に関連する以下の四つのグループの臨床関係データベースからなる。 Poisindex: 毒物学, Drugdex: 臨床薬理学と治療, Emergindex: 急患治療情報, Indentindex: 錠剤とカプセルの分類情報。これらは全部まとめてでも、あるいは個々にでも購入することができる。	年間 6,000 ドル 1~4 のディスクの組み合わせ ドライブ, インタフェイス, ソフトウェア等により上乗せ
Datext Corporate Information Database	Datext, Inc.	消費者, 産業, サービス, 技術経済の 4 分野のフルテキストデータベースで形成されている。それらは Disclosure (SEC ファイルからの抄録, 監査報告および年次報告書), Business Research Corp. (投資分析レポート), Media General (株価の変動), Marquis Who's Who (経営者の経歴) で, Predicasts と ABI/INFORM の二つの目録が一つになっており, どちらもアブストラクト含む。ワープロまたは貸借対照表のプログラムにダウンロードできる。	4 データベースで年間 19,600 ドル, 個々は 9,600 ドル ・メンテナンス ・ソフト契約等
EMBASE Database on Silver Platter	Silver Platter Information Inc.	臨床医学, 生物医学研究のすべての領域をカバーしている権威あるデータベース。世界中の事例をカバーしている印刷媒体の Excerpta Medica と内容が一致している。総制語のほか, 商業, 化学, 製造者の名前などの用語でも検索することができる。HELP の情報は, ディスクに内蔵されており, また, アウトプットは, プリンタその他の周辺機器からでも可能。	年間 8,000 ドル ・アップデート ・ドライブ, ワークステーション使用料
ERIC Database on Silver Platter Compact Disc	Silver Platter Information Inc.	教育情報センターから出された文書を集めた Resources in Education (RIE) と, Current Index to Journals in Education (CIJE) の両方を含んでいる。1986 年末には, 1966 年から 1980 年までのデータを収録したディスクを出す。それまでのディスクは 1981 年から最新の 4 半期までを収録している。ブール式検索, 接頭詞, 近接詞検索ができ, HELP コマンドで ERIC のシソーラスにアクセスできる。プリンタ, フロッピー, ハードディスクなどにアウトプットできる。	年間約 3,000 ドル ・4 半期アップデート ・ドライブ, ワークステーション使用料
Grolier Electric Encyclopedia	Grolier Electronic Publishing, Inc.	20 巻の Academic American Encycropedia と Activenture の検索ソフトウェアを内蔵, ソフトは単語, 熟語, 図形などで素早い検索ができ, また将来他の情報源やアプリケーションソフトが加わった場合にも対応できるよう設計されている。現在アップルのバージョンだけが市販されている。プリントアウトもでき, 12 インチのビデオディスクでも提供されている。	全システムで 1,495 ドル ・百科辞典のみ 199 ドル ・年間アップデートは 24.95 ドル
Info Trac Database	Information Access Company (IAC)	約 900 の一般ビジネス, 技術関係定期刊行物や, 統合された Magazine Index と, Management Contents などのインデックスを, 最新年と過去 3 年でまとめてある。さらにニューヨークタイムズを 60 日分, ウォールストリートジャーナルを 12 か月分収めてある。システムは, 初心者とその主題からでも, 固有名詞からでも, 迅速に検索が可能ないようにつくられている。また, ひとつのキーを打つだけで, シソーラスにアクセスでき, 正確を期すことができる。HELP, 印刷, 他の操作も同様である。(CD-ROM でなく 12 インチデジタルビデオディスク)	年間 4,500 ドル ・月間アップデート ・年間購読料
Menu Data Plate	Reference Technology Inc.	Elsevier's The Software Catalog の CD-ROM バージョン。マイコン, ミニコン, 汎用コンピュータの 2 万 5,000 プログラムタイトルのディレクトリ。内容はプログラムの解説と, 提供者の名前と住所。	199 ドル

NICEM	Silver Platter Information, Inc.	非印刷媒体の教育、訓練教材で、フィルムとフィルムスリッパ、オーディオとビデオカセット、スライドとオーバーヘッドプロジェクタ、レコードとレコードプレーヤなどの包括的な情報を提供する。幼稚園から大学課程終了までのすべての教育レベルをリストしている。ユーザは情報を、プリンタや他の周辺機器にダウンロードすることが可能。	年間 800 ドル ・ドライブとワークステーション使用料
NTIS : Computers, Communications and Electronics	Digital Equipment Corporation (DEC) ※撤退	コンピュータ科学、通信、エレクトロニクスなどの分野の文献資料に関する情報を NTIS の資料から抽出して提供する。1980 年以降、最新の発表分までの連邦政府機関とその契約機関の最新のテクニカルレポートを含んでいる。フル式検索が可能で初心者用マニュアルが提供される。	年間 1,150 ドル ・4 半期更新 (もしくは DEC の CD リーダー付きで 3,095 ドル)
NTIS : Environmental Health and Safety	Digital Equipment Corporation (DEC) ※撤退	NTIS データベースのサブセット。連邦政府が行った環境に関する保健・安全上の観点からの技術的研究を含んでいる。NTIS の報告年度の、1980 年から現在までの分を含んでいる。フル式検索が可能で、初心者用のマニュアルが提供される。	年間 1,150 ドル ・4 半期更新 (もしくは、DEC の CD リーダー付で、3,095 ドル)
PAIS Compact Disc Database	Silver Platter Information, Inc.	世界中の政治学、行政学、国際関係、ビジネス、経済、法律、社会学などに関する雑誌記事、書籍、パンフレット、政府文書などの書誌情報を提供する。フル式検索が可能で、フィールドによる制限検索も可。また、グロッサリーや HELP 機能へのアクセスも容易。結果はプリンタや周辺機器にダウンロードできる。	未定
Psyc LIT Database on Silver Platter	Silver Platter Information, Inc.	心理学と関連の行動科学に関する世界中の文献のアブストラクト付き索引を 1974 年から掲載している。フル式検索で、フリータームと統制語の両方が使え、初心者でも利用できるようデザインされている。検索結果は、プリンタにダウンロードし、ディスクにセーブすることができる。	年間 5,000 ドル ・4 半期更新 ・CD ドライブ ・ワークステーション
Software Library Data Plate	Reference Technology Inc.	8,800 に上る IBM PC 用パブリックドメインおよびユーザサポーテッド・プログラムの情報を提供する。ワード、テキストプロセッサ、エディター、DBMS、スプレッドシート、財務ビジネスアプリケーション、通信ソフト、統計ソフト、言語とプログラム補助ツール、ユーティリティとコーディングプログラム、グラフィックス、教育用ソフト、音楽とゲーム用ソフトなどについて、ソフト開発者と、光ディスク製造者からの情報を収録。	395 ドル
Bib-Base/Cdrom	Small Library Computing Inc.	300 万件の MARC データベースと、150 件の ANY-BOOK データベースの英文タイトルで印刷媒体に掲載されたものの中から独自のデータベースに収録したものである。これらは Bib-Base/BARC の追加オプションであるから、ユーザはそれぞれ別々に申し込まなければならない。	1,995 ドル ・モジュール ・ドライブ ・インタフェイス ・ケーブル
COMPENDEX : Chemical Engineering	Digital Equipment Corporation (DEC) ※撤退	化学分析や、物理化学、化学装置、プロセス、化学薬品と製品、化学工業などを含む化学工学のすべての分野の専門的文献のアブストラクト。素材特性、試験、核燃料化学、冶金学、流体と真空、熱と熱力学、冷却と低温学、燃料貯蓄、遠隔操作技術、光線と光学など。フル式検索、制限探索の両方が可能。HELP 機能と初歩解説書と一緒に提供される。情報は、他のソフトウェアパッケージと一緒に用いることができるようにダウンロード可能である。ただし検索ソフトは製品に関する特許で保護されている。	年間 1,195 ドル ・4 半期更新 (もしくは、DEC の CD リーダー付で 3,135 ドル)

Government Publication Index	Information Access Company (IAC)	合衆国政府の出版物の月間カタログの目次を、1978年から現在まで収録している。アクセスの手段としては分野、タイトル、出版機関などがある。このシステムは同時に複数のユーザをサポートする専用ワークステーションを持つ。検索はセルフサービス形式の操作で提供され、ユーザは特別なトレーニングなしでも使える。システムは分野と名前の入力を促すが、1回のキー操作でシソーラスあるいはHELP機能につないだり、プリントなどの操作もできる。(CD-ROMでなく12インチビデオディスク)	年間4,500ドル ・月間更新 ・年間契約料 (ソフトのみ4,000ドル)
Grolier Electronic Encyclopedia	Reference Technology, Inc.	数社から出されているGrolier's Electronic EncyclopediaのCD-ROM版のひとつ。20巻に上る印刷版の百科事典に含まれるどの単語、熟語からでも迅速に検索ができる。複雑なブール式検索ができ、結果はディスクにダウンロードし、保存することができる。	199ドル
Laser DISCLOSURE	Disclosure Inc.	SEC(米証券取引委員会)の全ファイルが画像情報として光ディスクに取められた。加入者(ニューヨークエリアが最初のノード)はディスクロージャリーのオフィスに光ファイバーの専用ネットワークを通してアクセスし、そこのビデオジョークボックスに保管されている文書を検索することができる。検索者は検索した文書の全部または一部をレーザ出力、プリントすることができる。このコピーやプリントのリセールは禁止。(CD-ROMでなく、12インチ光ディスク)	年間9万7,000ドル ・ハードウェア ・ソフトウェア ・通信料 ・プリント料は1レコードごとに2.25ドル
LASERFILE	Library Systems and Services, Inc.(LSSI)	LASERFILEは、MARC、GPO、REMAR、NICMなどのディスクデータベースの書誌事項を用いて、部分的な記録の目録や、オリジナルのカタログなどを用途に応じてつくることができる。また外部の書誌的資料を用いず過去データのたどることができる。最近の光ディスクデータベースの製品は、LSSI形式のフロッピーディスクのものと同程度の価格で出ている。(CD-ROMでなく、デジタルビデオディスク)	1万7,000ドルとデータベース更新料(4半期ごとに1,200ドル、隔週ごとに4,800ドル) メンテナンス料：年間6,000ドル
Laser Search	Ingram Book Company	150万件の印刷物の英文タイトルを収めたLibrary Corporationの、ANY-BOOK CD-ROMをベースとした自動書籍探索・決済システム。著者、タイトル、キーワード、ISBNコード、LCカードナンバー、さらにイングラムの目録コードから検索でき、情報は、ハードディスク、フロッピーディスクにダウンロードすることができる。利用者はオンラインおよび郵便での注文を利用できる。	レンタル料：年間795ドル ・4半期更新 ・CD-ROMドライブ
Le Pac	Brodart Co.	このデータベースを使えば、図書館が持つ機械可読形式のMARC IIフォーマットのローカルデータベースをCD-ROMに収録できる。それをCD-ROMドライブに装置すれば著者名、タイトル、内容から、テンキーだけを使って検索できる(OR検索と自由語検索はフル機能キーボードを使って選択可能である)。CD-ROMとオンライン接続のどちらでも利用できる。	タイトルにより異なる(1タイトル平均4ドル) ディスクコピー：10~15ドル
Legal Trac Database	Information Access Company (IAC)	American Association of Law Libraries承認のLegal Resources Indexを完全収録している。700を超える法律上の出版物(法律概要、弁護士雑誌、法律新聞)を1980年から現在まで収録している。専用ワークステーションに収められ、初心者のために自動検索システムが用意されている。単一キー操作でシソーラスにアクセスでき、検索に正確を期すことができる。HELP機能や印刷なども同様の操作でできる。(CD-ROMでなく、12インチビデオディスク)	年間4,500ドル ・月間アップデート ・年間契約料

News Bank Electronic Index	News Bank, Inc.	すべての News Bank の印刷出版物が CD-ROM に収められている。含まれているのは 100 以上のアメリカの新聞の最近の記事の月間インデックス、ニュースの中の名前(伝記体の検索サービス)、また四つのパートに分かれた芸術批評(文芸新聞、公演芸術、映画・テレビ、美術と建築)などである。さらに同様のマイクロフィッシュも提供する。申込者はそれぞれ、アップデート、月報、マイクロフィッシュ、ハードなどを組み合わせて申し込み、個別に価格の交渉をする。	年間 7,000 ドル ・ハード使用料 ・マイクロフィッシュ(毎月更新)
NTIS : Aeronautics, Space and Astronomy	Digital Equipment Corporation (DEC) ※撤退	1980 年から最新の全文データベースの中から航空学、航空宇宙、天文学に関して抜粋して CD-ROM 化された。航空学、空気力学、ミサイル科学、宇宙科学、航海学、ガイダンス、コントロールなどについての情報を提供する。情報源は、DOD (Department of Defence), NASA などの政府機関や政府関連の調査レポートである。プール式と近接検索で質問語を使って検索できる。また、さらに他のソフトウェアと一緒に使えるように検索結果をダウンロードすることもできる。	年間 1,150 ドル ・4 半期アップデート